

平成30年度 鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同安全点検実施箇所図

(鳴門市第一小学校)

☆は対応状況 (H31,2,15 現在)

③路肩が狭く、車が停車している際には、児童が側溝とのわずかな隙間を通り抜けて通行することがあり、危険である。近辺の足場もよくない。

〈対策内容〉

- ・児童に対して注意 喚起・指導を行う。
- ・保護者による朝の立哨指導を行う。

- ・ラバーポール設置
- ・舗装の補修

☆継続
☆完了
☆継続



1. 2

④交通量が多い交差点で、押しボタン信号と横断歩道が設置されており、多くの児童が利用している。歩道と横断歩道に段差があり危険である。

〈対策内容〉

- ・児童に対して注意喚起・指導を行う。
- ・教員による朝の立哨指導を行う。

☆継続

- ・「止まれ」の路面シールの設置

☆完了



⑤横断歩道の塗装が薄くなっており、車からの視認性が悪く危険である。

〈対策内容〉

- ・児童に対して注意喚起・指導を行う。
- ・保護者による朝の立哨指導を行う

☆継続

- ・横断歩道の補修

☆完了



②横断歩道の塗装が薄くなっており、車からの視認性が悪く危険である。

〈対策内容〉

- ・児童に対して注意喚起・指導を行う。
- ・保護者による朝の立哨指導を行う

☆継続

- ・横断歩道の補修

☆完了



①路側帯の白線と横断歩道が消えかけており、車からの視認性が悪く危険である。

〈対策内容〉

- ・児童に対して注意喚起・指導を行う。

☆継続

- ・白線塗装補修を行う。

☆補修申請済



鳴門市第一小学校

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平30情複、第563号）

※ この点検箇所図を複製して利用する場合は国土地理院長の承認を得なければならない。